

ONODERA USER RUN : 横浜市主催 医療機関向け外国人材採用支援セミナー』受託

25.01.27

この度、横浜市主催「横浜市内医療機関向け外国人材採用支援セミナー」を開催することになりましたので、ご案内いたします。
※本事業は、横浜市からONODERA USER RUN(OUR)が受託し運営しております。

多くの業界で人材不足が深刻化している超高齢社会の日本。医療業界においてもそれは顕著であり、このような問題を解決するため、外国人材を採用する医療機関が増えてきています。外国人材の採用は、受入れ(採用)側においての準備が重要となります。本採用支援セミナーでは、医療機関において「外国人材」を採用するうえで何をすべきなのか、また、それに付随する不安や疑問にお応えするため、「外国人材採用」について総合的な視点で解説をいたします。

出典 : <https://onodera-user-run.co.jp/news/6665/>

横浜：市内外国人の『生活満足7割超』 —意識調査が報道

25.02.25

横浜市が行った外国人意識調査の結果が2月20日に発表され、回答者の7割以上が生活に満足していると回答したことがわかった。

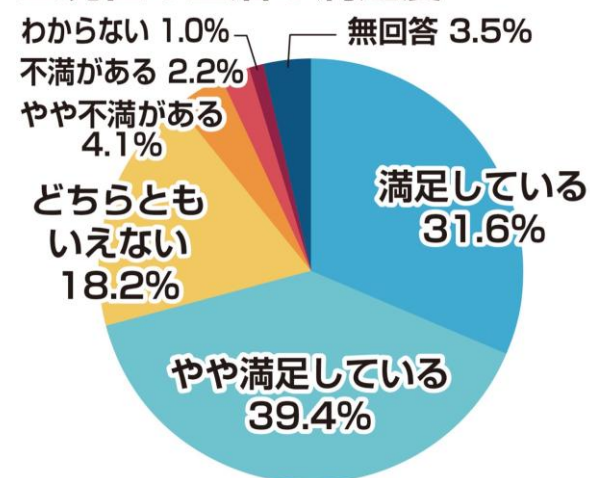
調査は市内の外国人人口が12万人を超え、今後も増加が見込まれる中、外国人住民の生活意識やニーズを把握するために行った。18歳以上の市内在住外国人5千人を無作為抽出し、郵送とインターネットで調査。1512件の回答があった。

結果によると、現在の生活について「満足している」(31.6%)、「やや満足している」(39.4%)と回答した人の合計は71.0%に達した。この数値は前回の2019年度調査の64.1%から約7ポイント上昇した。

大地震などで自宅が使えなくなった際に避難する「地域防災拠点」について、「知っているし、場所もわかっている」と答えた人は38.5%にとどまり、前回調査(43.9%)から5.4ポイント低下した。「知らない」と回答した人は30.7%で前回調査(25.8%)から増えた。

市は「今後、外国人の地域での活躍に向けた後押しや、災害時の外国人支援などの課題に取り組み、外国人材の受入・共生を一層推進していく」としている。

■現在の生活の満足度



平塚：米・カンザス大の留学生16人が 日本文化を体験（ホームステイ再開）

平塚市の姉妹都市アメリカ合衆国カンザス州
ローレンス市のカンザス大学より、留学生16
人が5月30日から6月1日までの3日間、来平。
6年ぶりにホームステイも行われた。

25.06.06

30日には茶道や書道、はんこ彫りなど日本
文化を体験したほか、落合克宏市長を表敬訪
問した。

はんこ彫り体験では、東曜印房（明石町）の
水嶋祥貴さんが講師を務めた。留学生はモン
ゴル原産の天然石パリンに、水嶋さんが考え
たそれぞれの名前を漢字に当てた文字を彫っ
ていった。「世」の文字を彫ったセスさんは「初
めての経験だがリラックスした気持ちでできた。
日本の友人に手紙を書くときに押したい」と話
した。



当社で介護スタッフとして活躍する外国人技能実習生と 特定技能外国人が、通算100名を突破

25.06.12

株式会社ツクイ(本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 高畠 毅、以下「当社」)は、2025年5月末日時点で、2019年から受け入れを始めた「外国人技能実習生」(以下「技能実習生」)と、2021年から採用を始めた「特定技能外国人」が、通算で100名を超えたことをお知らせします。

当社が技能実習生の受け入れに向けて動き出したのは、社内のダイバーシティーとして、幅広い人材が個性や能力を発揮できる企業風土作りを推進していた2017年ごろのことでした。実際に受け入れを開始したのは2019年4月で、途中約2年間のコロナ禍による入国制限を経て、現在までに66名の技能実習生を受け入れています。

また、日本で働きたい外国人が特定の技能を持っている場合に、その技能を生かして働くことができる「特定技能制度」が2019年4月に始まり、当社はその2年後にあたる2021年4月から日本国内での採用に特化した形で特定技能外国人の採用を開始しました。同制度を通じて現在までに、ベトナムをはじめとする7か国の79名が入社しています。

2025年5月末日時点では、有料老人ホームをはじめ、グループホームやデイサービスなどで、29名の技能実習生と79名の特定技能外国人が介護スタッフとして活躍しています。